



# 山陰酸素工業 株式会社

● ガス・エネルギー供給

11  
LEADING COMPANY

## 山陰の豊かな未来に向けて 働く人と地域に幸せをめぐらせる

地域に根ざしたエネルギー企業として産業や暮らしを支える《山陰酸素工業株式会社》。脱炭素や新技術にも果敢にチャレンジしながら、変わり続ける時代の中で、山陰の未来を切り拓いている。



### 山陰の経済を支え、 地域の未来をリードする

山陰地方の産業と人々の暮らしを支える《山陰酸素工業》は、戦後間もない1946年に産声を上げた。ものづくりに必要不可欠な酸素の取り扱いから始まり、産業用ガスの製造・販売を手がけ、1960年代には一般家庭・業務用LPガスの供給を開始。2002年からは、地球環境に負荷が少ないクリーンエネルギーの液化天然ガス（LNG）事業にも着手し、時代とともに事業を拡大してきた。

現在では、家庭用から産業、医療用などさまざまな分野で使われる高圧ガスと関連機器販売で山陰トップクラスのシェアを誇る。山陰地方全域から関東、九州地方まで業務エリアを広げ、工業用、医療用ガスを販売。LPガスは鳥取・島根で約2万戸の供給実績を持ち、さらに山陰酸素グループ（エネルギー、自動車、食品など10社2組合）が、山陰地方を中心に事業を展開し、幅広い分野に対応している。

企業理念に掲げている「わたしたちは、総合力で地域を支え、生活（くらし）に豊かさを提供し、輝きのある未来に向かって共に前進します。」という文言からは、戦後の復

興期から山陰の経済を支えてきた自負と、未来に対する強い使命感にあふれているのが感じ取れる。

### 脱炭素化をはじめ 地域課題の解決に挑む

エネルギーを扱い、地域の産業を支える会社として、長期的な視野で取り組んでいるのが脱炭素社会の実現だ。山陰酸素工業を率いる並河元社長は「カーボンニュートラル（以下、CN）化は地球レベルの問題であり、化石燃料も扱う当社としては絶対に取り組まなければならない」とと決意を語る。とはいえ、産業を支えるには再生可能エネルギーだけでは供給が不安定だ。まずは地域の低炭素化や省エネ・創エネへのシフトを促し、エネルギーの安定供給とCO<sub>2</sub>排出量削減を両立しながら段階的なCN化を目指す。

自社のCN化では《GX（グリーン・トランスフォーメーション）推進室》を設置して進捗状況を管理している。2つの拠点で太陽光発電システムや電気自動車に貯めた電力を建物で使用できるV2H（Vehicle to Home）などの導入を完了し、Jフレジット購入によりCN化を達成。今後さらに、GXに関するノウハウを蓄積し、CN化に取り組む企業や団体を支援すること

で社会全体のCN化を後押ししていく。

「地域の社会課題の解決に資することには全力で取り組みます。また、そこに価値を見出している方たちへの協力も惜しみません」と並河社長。その考えのもと、既存事業の基盤強化と新規事業創出の加速化を目指して2023年に設置されたのが《CVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）推進グループ》だ。

CVC推進グループでは、脱炭素技術をはじめ、インフラ老朽化対策などのさまざまな地域課題の解決に取り組むベンチャー企業を対象に、投資や協業を行っている。範囲は全国に及び、これまでに3社と資本提携した。「相手企業が持つ技術や設備、ネットワークと我々の資産やノウハウを組み合わせることで、新たなソリューションを生み出せると期待しています。新しいサービス、新しい価値を地域に提供していきたいです」と思いは尽きない。

こうした並河社長の思いや経営方針を社員に伝えるためにスタートしたのが社内ラジオ放送だ。毎週月曜日の配信で、DJは並河社長自身。経営方針など社長としての思いや考えを説明するコーナーや、社員との対話コーナーなどがある。社員にダイレクトに声を届けることで理念や方向性を浸透させる狙いだ。



1



2



3

1 並河元社長。1979年エジプトカイロ生まれ、島根県育ち。コンサルティング会社を経て帰郷し、2020年4月に代表取締役社長に就任 2 《安来ガスセンター》での医療ガスの充填作業の様子 3 《鳥取ショールーム》では調理機器や床暖房などの設備を展示





## 山陰酸素工業 株式会社

創 業 昭和21 (1946) 年9月15日  
代表者 代表取締役社長 並河 元  
社員数 353名 (男282名 女71名)  
本 社 鳥取県米子市旗ヶ崎2201-1

### 事業内容

高圧ガスおよびガス関連機器の販売、  
供給設備の設計施工管理 など

### 勤務地(採用エリア)

安来市、松江市、出雲市、雲南市、邑智郡、  
浜田市、鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、  
東京都、埼玉県、栃木県、大阪府、岡山県、  
福岡県

### 採用区分

#### 新卒採用

#### キャリア採用

### インターンシップ・キャリア

#### 有

夏と冬に1dayの業務体験を実施。詳細  
や申込は、リクナビまたは公式サイトの  
採用情報から。

### 採用担当者からあなたへ

当社のインターンシップ・会社説明会では若  
手社員との座談会で、実際に働く生の声を  
聞くことができ、会社の雰囲気や働くイメー  
ジを感じていただけます。  
ものづくりや人々の暮らしを支える  
仕事に興味がある方、地域の  
課題解決に挑戦してみたい方、  
ご参加をお待ちしています！

人事グループ長  
前田 和宏さん

採用に関するお問い合わせ先

0859-32-9173

公式サイトは  
こちら



Instagramは  
こちら



リクナビは  
こちら



人事部に2022年4月に誕生した人材開発グループが中心となり『San-in Sanso Style Book』がつくられ、新しい  
人事評価制度が導入された

## 社員の幸せを主眼に置く

社員が幸せを実感できる  
だからこそ進化していける

新たな価値の創造を試みるトップ  
の姿勢は、社員の刺激となり会社へ  
の誇りや愛着につながる。「そうし  
た気持ちには心身に余裕がないと持て  
ません。社員が抱える心の負担感を  
減らして自身の仕事の価値を再確認  
し、一人一人が幸せを感じることが  
できる環境づくりに取り組んでいま  
す」と並河社長。全社員を対象とし  
たサーベイを3回にわたり実施し、  
社員の思いが明確になったことでア  
プローチの方向性が定まった。  
2023年10月、行動指針を示し  
た『San-in Sanso Style  
Book』を社員に配布。働きやす  
さや働きがいを中心置き、個々が  
当事者意識を持って挑戦を続ける姿

勢を言語化した。翌年にはこの指針  
を土台にした評価制度の運用を開  
始。また、キャリア教育推進のため  
e・ラーニングや研修の充実など学  
びの環境も着々と整えている。  
「対話を増やし、働きやすい環境  
を整えることで、心理的安全性が保  
たれ一人一人の挑戦する気持ちが自  
然と湧き上がる」。そんな自走す  
る組織を目指しています」と働く人  
を中心とした組織づくりに取り組む。  
さらに2032年までにグループの  
人員を現在の1600人から20  
00人に増やすことを目標に掲げ、  
山陰酸素では100人の増員を目指  
す。地方経済が縮小傾向の中、大き  
な挑戦だ。「地域あつての我々。若  
い人の雇用の受け皿となるには成長  
が必要であり、ともに前向きに挑戦  
する意欲のある方を求めています」



### ガスエネルギーを楽しく学べる施設 《さんそ学習館ケイオス》

子どもたちが楽しんで学べる仕掛けが満載の  
《さんそ学習館ケイオス》(鳥根県安来市)。  
科学実験教室などのイベントも随時開催し、  
これからの地域教育への貢献が期待される施  
設だ

## 多様な視点から暮らしを支える

### 多彩な提案でお客様のニーズに応えています！

産業ガス課は、酸素や窒素、アルゴンなどのさまざまなガスを工場や医療施設など  
に届け、地域の産業を支えている部署です。その中で、私は工事営業と設備管理を  
担当しています。工事営業は配管工事や機器の取り付け、空調工事が主な業務で  
す。設備管理では、お客様の工場に設置している設備の点検やガスの受け入れなど  
を行っています。業務を行う上では、優先順位を決めて仕事を進めることを心がけて  
います。今やるべきことに集中でき、時間に余裕を持って仕事に取り組めるからで  
す。山陰酸素にはさまざまな事業があるので、お客様の環境やニーズに合わせて多  
彩な提案ができます。幅広い知識を身に付けて挑戦できるので、社会人として成長  
ができる会社だと思います。



安来支店 産業ガス課  
Uさん  
2024年入社



事業企画部 開発グループ  
Nさん  
2018年入社



### 企業のBCP対策を提案から施工まで担当。頼られる存在へ

新卒で入社後、最初は技術部で医療系ガス設備の保守点検に従事し、現在は事業  
企画部開発グループでBCP(事業継続計画)対策支援を行っています。BCPは災害  
などの緊急時下での事業継続・早期復旧のための計画のこと。非常時に利用でき環  
境にも貢献できる太陽光発電システムや蓄電池、空調システムなどをお客様に対して  
ご提案して、設計から施工まで担当しています。異動してすぐの頃はわからないこと  
だらけで苦労しましたが、豊富な専門知識を持つ周囲の人からの的確なアドバイスに  
助けられてきました。私ももっと知識を身に付けて、お客様に頼られる存在になりた  
いです。



グループ経営部 CVC推進グループ  
Kさん  
2014年入社



### 山陰から全国のスタートアップと連携

新卒で入社して人事部に所属したのち、2024年からCVC(コーポレートベンチャー  
キャピタル)推進グループに異動しました。この部署は、全国各地のスタートアップ企  
業と連携し、新規事業の創出や既存事業の強化を進める部署です。脱炭素や地域課  
題の解決を目指しながら、これまでにセンシング技術・水処理・熱電発電などの技術  
力のあるスタートアップへの投資、衛星を活用したビジネスの実証試験などを行って  
きました。投資やこれまで関わったことのない分野の勉強など新しいことが多く大変  
ですが、全国のさまざまな業界とつながることで自分の世界が広がり、また地域の発  
展に携われることに大きなやりがいを感じています。

### 自分の設計が形になり、地域の産業を支える喜び

エンジニアリンググループでは、工場にガスを供給する設備の設計や工事の手配、  
工程管理といった設備工事の一連のプロセスを手がけています。私自身はLPガス直  
売課、特約課での営業を経て、現在の部署へ。設計・施工については未経験でした  
が、会社や上司のサポートのもと一から学び、直近では2級管工事施工管理技士も取  
得することができました。施工の際は、品質不良や事故が起きないように細心の注意  
を払う必要があり、担当した設計が事故や大きなトラブルを起こすことなく完成した時  
はホッと安心します。同時に、お客様のもとに安全かつ安定してガスを供給し、地域  
の産業を支えていることに大きなやりがいを感じています。



技術部 エンジニアリンググループ  
Iさん  
2015年入社

